

令和5年度 埼玉県公立学校における 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について

1 調査の趣旨

児童生徒の問題行動等について、埼玉県公立学校の状況を調査・分析することにより、教育現場における生徒指導上の取組のより一層の充実に資するとともに、その実態把握を行うことにより、児童生徒の問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応に、また、不登校児童生徒への適切な支援につなげていくもの

2 上尾市調査結果概要

(1) 暴力行為

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小学校	83	243	239
中学校	28	37	82
合計	111	280	321

- ・暴力行為の発生件数は、中学校で増加傾向である。
- ・暴力行為がいじめと関連していることが多いため、令和3年度より暴力行為を積極的に認知するように各上尾市立小・中学校長に依頼している。

【いじめ】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小学校	612	715	826
中学校	140	124	174
合計	752	839	1000

- ・いじめの認知件数は、増加傾向である。
- ・令和3年度よりいじめ認知を積極的に認知するように各上尾市立小・中学校長に依頼している。

【30日以上長期欠席者（小学校）】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
病気	86	47	172
経済的理由	0	0	0
不登校	87	126	123
その他	48	264	100
新型コロナウイルス感染回避	72	10	
合計	293	447	395

【30日以上長期欠席者（中学校）】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
病気	83	67	63
経済的理由	0	0	0
不登校	257	308	332
その他	37	84	55
新型コロナウイルス感染回避	21	6	
合計	398	465	450

- ・30日以上長期欠席者は、小学校、中学校ともに令和4年度と比べて減少している。
- ・30日以上長期欠席の理由で最も多いのは、小学校は病気であり、中学校は不登校である。